

本日(4/20)、宮崎県で 口蹄疫の疑似患畜が確認されました。

口蹄疫は、牛、豚、羊、山羊、鹿等の偶蹄類に感染するウィルス性の疾病で、伝染力がきわめて強いため、畜産だけでなく、経済全体に大きな被害を及ぼす伝染病の一つです。

口蹄疫の症状としては、発熱、元気消失、食欲不振、多量のよだれ、口の中、舌、蹄の付け根、乳頭に水ぶくれやただれができるため足を引きずる症状が見られます。もしこのような動物を発見したら、ただちに家畜保健衛生所まで連絡をお願いします。

また、農家の皆様においては、農場への部外者の立ち入り制限等、改めて飼養管理の徹底を図るようお願いします。

↓ 下図は代表的な症状の多量の流涎（よだれ）と口腔内の水ぶくれ

